

保健だより



5月

平成30年度

入園から1か月が経ちました。少しずつ環境の変化や園生活にも慣れてきていますが、気候が安定しない日が続き、体調を崩す子どもが増えました。規則正しい生活を心がけて休養を十分に取るようにしましょう。

健康診断のお知らせ

日頃、気づきにくい病気を早く発見したり、身体の成長を知ることは、子どもの健康を守るために大切なことです。次の日程で行いますので、医師に聞きたいことなどがあればお知らせください。異常が見つかった場合は、早めに病院を受診し、その結果を園までお知らせください。

<日程>

- 5月22日(火) 歯科検診(全クラス)
- 6月4日(月) 尿・ぎょう虫提出日
- 5日(火) 尿・ぎょう虫提出日
- 6月13日(水) 内科検診(ひよこ・うさぎ・幼稚園組)
- 20日(水) 内科検診(かんがるー・らいおん・くじら組)

* 歯科検診の日は9時までに登園をお願いします。

* 内科検診は、事前に問診票を配布しますので、記入して提出をお願いします。

ひよこ組の子どもたちは、初めての集団生活に、少しずつ慣れてきてはいるものの発熱、鼻水、咳などで体調を崩して、お休みする子どもが増えていました。鼻水や咳などから中耳炎を発症したお子さんも増えていました。

急性中耳炎

季節にかかわらず一年を通して多い病気が、中耳炎です。特に年齢が低いほど多くなっています。鼻や喉についた風邪のウイルスや細菌が耳に達して炎症を起こします。激しい耳の痛みと高熱が主な症状です。鼓膜内に膿がたまり鼓膜を破って出てきたものが耳だれです。症状が重くなると、鼓膜を切開したり、チューブを入れることもあります。治療は、抗生剤の服用で治りますが、症状が良くなったからといって、自己判断で薬をやめたりせず、医者が「もう大丈夫」と言うまで治療が必要です。繰り返すことが多いので気をつけましょう。年齢の小さい子どもは、耳管(鼻と耳をつなぐ管)が短くて太いため鼻や喉についた細菌が中耳に入りやすくなっています。鼻水はこまめに拭きとり、長引かないようにしましょう。

麻しん(はしか)の予防接種はすんでいますか

県内では、3月下旬以降、麻しんが流行を続けており、現在74例が報告されています。1988~2001年にも流行し、多数の患者と9名の乳幼児死亡が報告されました。麻しんは、予防接種によってほぼ予防することができます。

現在の定期接種は

第1期: 1歳児

第2期: 小学校入学前の1年間

生後6か月~12か月未満

(感染すると重症化する可能性のある乳児への感染を防ぐために、市町村の助成で受けられます)

* 1歳未満で接種を受けた場合は、免疫獲得が十分でないことがあります。そのため、第1期、第2期の定期接種を必ず受けて下さい。

* 予防接種の確認と、接種を早めに行ってください。

* 不要不急な外出はひかえましょう。

* 風のうた保育園では、職員全員が、抗体検査や予防接種を受けたことを報告します。